

平成29年度 第1四半期 指摘事項一覧

原子力事業所: 原子燃料工業(株)熊取事業所

作成責任者 統括運転検査官 中村 博英

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘(要旨)	事業者 回答日	事業者の処置状況
1	平成29年6月1日	中村	環境安全部長	施設の老朽化が進む中、点検要領等の見直しが適切に行われていないこと、ダクトの腐食等を異常状態として捉えられていなかったこと及び担当部によって点検内容等が異なっていることが確認されたことから、加工施設の点検方法等の保守管理の見直しについて必要な検討をすること。		
2	平成29年6月1日	中村	環境安全部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度第3回保安検査における違反事項に対する根本原因分析の要否について、その判断基準及び根拠を明確にした上で、改めて検討すること。 ・ 保安規定違反事項等に係る根本原因分析の要否の決定方法について、適切な検討がなされる仕組みとなるよう、判断プロセスの見直しの必要性を含め検討すること。 		
3						

平成29年度 第1四半期 指摘事項一覧

原子力施設名: 近畿大学 原子力研究所

作成責任者 統括運転保安検査官 中村 博英

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘(要旨)	事業者 回答日	事業者の処置状況
1	平成29年6月9日	横山	原子力研究管理 室長	原子炉施設の保安に係る機器の健全性確認方法について、具体的内容を記載すること。		
2	2017.6.9	横山	原子力研究管理 室長	減速材の純度管理に用いる導電率計について、校正方法を確立すること。		
3	2017.6.9	横山	原子力研究管理 室長	原子力安全文化の醸成活動は、組織全体として安全意識向上の課題に取り組むということから、組織全体を通じた共通的な活動となるように、更なる取組みを行うこと。		
4	2017.6.9	横山	原子力研究管理 室長	教育及び力量管理の実施状況について、業務従事者の力量評価の方法について、教育の受講履歴やこれまでの経験と実績及び日頃の業務から判断されているが、より具体的な判断基準を明確にすること。		

平成29年度 第1四半期 指摘事項一覧

原子力施設名: 京都大学原子炉実験所

作成責任者 統括運転検査官 中村 博英

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘(要旨)	事業者 回答日	事業者の処置状況
1	平成29年6月14日	横山	中央管理室長	マネジメントレビューの実施状況において、インプット項目からアウトプット項目の抽出に至る検討過程を明確にし、効果的な継続的改善が図られる様に改善すること。		
2	平成29年6月14日	横山	中央管理室長	多量の放射性物質を放出する事故の拡大防止において、放射線モニタリングによる燃料損傷の推定方法や放射性物質放出による影響を調査し、住民の安全確保のために必要な情報を発信する方法について、具体的な手順を明確にすること。		
3	平成29年6月14日	横山	中央管理室長	臨界実験装置の燃料集合体の挿入及び取出しにおいて、専用運搬台車による燃料集合体あるいは燃料要素の運搬に際し、保安規定に従った運搬となっていることを示す記録を残すこと。		
4	平成29年6月14日	横山	中央管理室長	廃棄物貯蔵庫の耐震補強工事について、「原子炉等の設計及び工事の計画と実施に関する手順書」に基づいて品質管理することとしていることに対し、設計は外部発注しているにも関わらず、調達要求事項のレビューを実施していなかったことについて、事業者は不適合管理を行うこととしていたが、是正処置が十分でないことが確認されたことから、必要な改善を図ること。		

平成29年度 第1四半期 指摘事項一覧

原子力施設名:京都大学 原子炉実験所 核燃料物質使用施設

作成責任者 統括運転検査官 中村 博英

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘(要旨)	事業者 回答日	事業者の処置状況
1				なし		
2						
3						